

戦略的対外発信拠点「ジャパン・ハウス」事業の実施

【令和3年度政府予算案額:3,833百万円の内数】

「戦略的対外発信の強化」の必要性の高まり

その一環として、主要国において**対外発信拠点**が必要。



- ・自民党外交再生戦略会議 中間取りまとめ(2014年5月)
- ・骨太方針2014(同年6月)
- ・自民党「外交力の飛躍的強化を求める決議」(同年11月)

「**ジャパン・ハウス**」をサンパウロ、ロンドン及びロサンゼルスに設置。

ジャパン・ハウスの機能



講演、セミナー等



展示



書籍、ウェブ等



物販



レストラン

ジャパン・ハウスの3つの工夫

公的機関の機能を集約し、日本に関する様々な情報がまとめて入手できる**ワンストップ・サービス**の提供。

カフェ・レストラン、ショップなどの商業スペースを設けるとともに、民間の活力、地方の魅力なども積極的に活用した**オールジャパンでの発信**。

専門家の知見を活用しつつ、**現地のニーズ**にきめ細かく対応し、現地の人々の共感を呼ぶよう工夫した発信。

日本の多様な魅力、正しい姿を含む政策・取組の発信を通じ、これまで必ずしも日本に関心なかった人々を含む幅広い層を惹きつけた上で、**親日派・知日派の裾野を一層拡大**させていく。